創業 文久二年 四条烏丸の大型自社ビル 京都を育てた「きもの産業」の存在感を守る きもの卸業界の元気&盤石企業

祇園祭の季節がやってきますね。祇園祭と言えば、私は真っ先に今回紹介する「外市（とのいち）」さんの社屋の目の前に長刀鉾を見たことを思い出します。京都の中心地、四条烏丸の大通りの面した、おしゃれで大きな自社ビル、実はその建て替え時には、さまざまストーリーがありました。今回は、そのストーリーを通じて「外市」さんの魅力に迫ります。

「長刀鉾（なぎなたぼこ）」は「くじ取らず」

祇園祭最大のイベント、山鉾巡行で、他の鉾は毎回、くじによって巡行の順番が決まるのですが、長刀鉾は「くじ取らず」と言って、いつも先頭を進みます。長刀は疫病邪悪をはらうものとして、鉾先に大長刀をつけているのでこの名で呼ばれます。山鉾の中で唯一生稚児が乗るのも特徴です。

長刀鉾を守るのが、公益財団法人長刀鉾保存会。外市株式會社はその役員企業であり、外市の井上社長が代表理事を務めています。まさに祇園祭を支える代表的企業なのです。実は、この長刀鉾の存在も、自社ビル建て替えに大きな影響を与えたのです。

京都の一等地にはあの超有名ブランドも

現在、外市ビルの低層部分には「ハンズ」（旧東急ハンズ）がテナントとして入居していますが、実は建て替え計画時には、あの世界的超有名ブランド「L社」からの打診もあったそう。東京でいう銀座通りに広い間口で面している立地は、それほどの魅力があるわけですね。現在はハンズ横に外市専用のエントランスがあるが、これも計画時にはなくして、四条通への間口の「価値」をより大きくテナントに提供するという案もあったそうです。が、やはり京都を代表する「呉服問屋」の雄である同社は、エントランスを設け、さらに4階から上の同社の売り場面積も狭くすることなく以前の水準を確保したそうです。また3階の通り沿いには祇園祭を観覧できるスペースを確保しました。そこには、そろばん勘定だけでなく、京都の老舗企業としての「プライド」が存在するように思えます。

京都で大型の建て替えには「覚悟」がいる

その覚悟とは「遺跡リスク」です。大型の建て替えの際には、より深く掘ったりすることが必要で、京都の場合、新たな遺跡が出る可能性も高いのです。発掘自体は公費で行われますが、その間、工事はできません。その損害は基本的に補填されません。時間のリスクが発生するのです。これは好立地で商売する場合、その影響は甚大です。ただ今回の建て替えは、幸いにもその「覚悟」は空振りに終わりました→良かったです。

財政基盤がしっかりしているといい商品が入り揃う

一等地での大型自社ビルとそのテナント収入は、外市の財務基盤を盤石にしている。だからこそ、信用、信頼が続き、いい商品、新しい商品が入り、揃うことになる。つまり卸業としてもっとも大切なことが実現されているのです。

往年と比すれば激減しているとはいえ、京都の街には和装製品を営むお店に出会うことがあります。その代表と言えるのが、京都の真ん中に構える外市の自社ビル。京都の発展は着物業界が支えた長くよき時代のプライドの一つとして、ぜひ守り続けていただきたいものです。

外市株式會社
〒600-8008
京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町27番地
電話 075-223-1222（代表）
https://www.tonoichi.co.jp

留学生の卒業式での「きもの体験」。文化交流も大切な目的にひとつです。
（協力・日本和装ホールディングス株式会社、銀座SAMURAI）

世界の分断が言われる今こそ、
私たちの使命が
さらに大切になっています。
公益財団法人 竜の子財団は、
日本を選び海外から留学してくる
優秀な若者を支援しています。

当財団では、ただ奨学金を支給するだけでなく、日本古来よりの文化、伝統に直接触れることによってより一層日本を理解してもらうことも目的としています。

この考えは10年20年後必ずや近い将来、財団を卒業していった奨学生がアジア諸国との国際友好親善、世界平和への実現に向けた架け橋となってくれるはずです。そのためにも財団の活動を永遠に継続していくことが必要と考えております。

当財団の運営は皆様方のご寄付により運営されております。ご協力をお願いいたします。

支援（ご寄付）のお願い
下記のサイトからクレジットカード等で
簡単にご寄付が可能です。
http://www.tatsunoko.jp
※ご寄付いただいた方々には、会報「竜の子奨学生」に、ご芳名を掲載の上、会報をお送りさせていただきます。
※公益財団法人竜の子財団への寄付金には、公益法人への寄付として、所得税・法人税の税制上の優遇措置が受けられます。

公益財団法人 竜の子財団
http://www.tatsunoko.jp
東京都新宿区新宿3-1-24 京王新宿三丁目ビル2階
竜の子財団は NPO法人 きものを世界遺産にするための全国会議 の活動を応援しています。

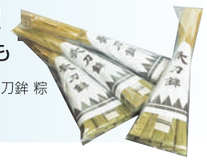
祇園祭を
自社ビル・特別観覧席から
楽しむ贅沢をあなたに

京都の真ん中、四条烏丸の通りにある自社ビル。
目の前にある代表的山鉾である「長刀鉾」。
その保存会の役員企業で代表理事は当社社長。
だから、祇園祭も外市でお楽しみください。

日程
[前祭] 7月12日㊌～17日㊗・月
[後祭] 7月22日㊏～24日㊊
場所 自社ビル（四条烏丸駅すぐ）

夏に京都に来るなら
外市の祇園祭ツアーが
最高!

- 長刀鉾が目の前に!**社内の特別観覧席**から四条通を一望
- **舞妓さんご来場**。優美な舞だけでなく、ツーショット撮影も
- ご来場のお客様には「**長刀鉾 粽**」をプレゼント
- **京の川床料理**に舌鼓


長刀鉾 粽

※このツアーは、外市のお取引い企業のお客様だけがご参加いただけるプレミアムイベントです。
一般の方はご参加いただけないのでご了承ください。
外市は NPO法人 きものを世界遺産にするための全国会議 の活動を応援しています。